

協定の概要

【滋賀県との安全協定】

「高浜発電所に係る安全確保に関する通報連絡等協定書」

※甲：滋賀県、乙：関西電力

主な項目	項目概要
(関係諸法令の遵守) 第1条	・乙は、発電所の増設および保守運営に当たっては、周辺環境の安全を確保するため、関係諸法令を遵守し、万全の措置を講じなければならない。
(輸送計画の事前連絡) 第2条	・乙は、発電所の新燃料、使用済燃料および放射性廃棄物を、甲の区域を通過して輸送するときは、その輸送計画について、事前に甲に連絡しなければならない。
(平常時における連絡) 第3条	・乙は、甲に対し、発電所の新增設に係る建設工事の進捗状況、保守運営状況（試運転を含む）、環境放射能測定の調査報告について、定期的に連絡しなければならない。
(異常時における連絡) 第4条	・乙は、甲に対し、非常事態が発生したとき、発電所に故障が発生したとき等に該当するときは、その旨を直ちに連絡しなければならない。
(損害の補償) 第5条	・乙は、発電所の保守運営に起因して甲の住民に損害を与えた場合は、直ちに損害の拡大を防止するための対策等、必要な措置を講ずるとともに、誠意をもって補償しなければならない。
(原子力防災対策) 第6条	・乙は、原子力防災対策の充実および強化を図るとともに、その実効性を高めるため、的確かつ迅速な連絡体制の整備および教育訓練を実施しなければならない。 ・乙は、甲が実施する地域防災対策に積極的に協力しなければならない。
(公衆への広報) 第7条	・乙は、公衆に対して、発電所に関し特別の広報を行う場合または報道発表を行う場合は、甲に対して連絡しなければならない。
(連絡の方法) 第8条	・乙は、甲に対し、第2条、第3条、第4条に定めるところにより連絡しなければならない。
(連絡の発受信者) 第9条	・甲および乙は、相互の連絡を円滑に行うため、連絡責任者を定めるものとする。
(協定書の改定) 第10条	・この協定書に定める事項について、改定すべき事由が生じたときは、甲乙いずれからもその改定を申し出ることができるものとする。この場合において、甲および乙は、誠意をもってこの協定書の改定について協議するものとする。
(疑義または定めのない事項) 第11条	・この協定書に定めた事項について、疑義が生じたとき、またはこの協定書に定めのない事項については、甲および乙が協議して定めるものとする。

以上